

## 4 調査

### I 世論調査

区では、区民の区政に対する意識や意向を的確に把握するために、昭和 49 年から 2 年に一度、世論調査を実施しています。今回の調査は、経年変化をみる「定住性」等の項目と、「地域活動への参加」「環境」「地域スポーツの推進」等の項目について伺いました。

#### (1) 調査の概要

調査対象：品川区在住の満 18 歳以上の男女（令和 2 年 8 月 1 日現在）

抽出方法：層化 2 段無作為抽出法

対象者数：2,500 人

調査方法：郵送配布・郵送回収またはインターネット回答

回収数：1,526 人

回収率：61.0%

調査期間：令和 2 年 9 月 10 日～9 月 30 日

#### (2) 調査の内容

令和 2 年度は、12 分野 31 問について調査しました。

- 1 定住性について
- 2 生活環境について
- 3 重点施策について
- 4 地域活動への参加について
- 5 地域スポーツの推進について
- 6 みどりについて
- 7 環境について
- 8 ごみ減量・リサイクルについて
- 9 心の健康について
- 10 防災について
- 11 広報と情報化について
- 12 シティプロモーションについて

### (3) 調査の結果

#### ① 定住性について

定住意向をたずねたところ、「ずっと住みたい」（43.1%）と「当分は住みたい」（48.2%）を合わせた『定住意向』は 91.3%であり、非常に高い割合となっています。また、東京都、区部との比較でみると、東京都より 14.7 ポイント、区部より 14.0 ポイント高くなっています。

#### ② 生活環境について

生活環境を評価点でみると、「交通の便」「買い物の便」は 4 点を超える高い評価点となっています。他方、「騒音や振動」「海・川・運河などの水の汚れ」「住宅の密集具合」といった、生活の快適さに関する項目で評価点がやや低くなっています。

#### ③ 重点施策について

区の施策の中で、今後特に力を入れてほしい施策は、「災害対策」が 33.6%で最も高く、次いで「生活安全（防犯対策・歩行喫煙禁止など）」（27.1%）、「保健・医療・健康（新型コロナウイルス含む）」（26.6%）、「安全な市街地整備（木造住宅密集地域の改善・空き家対策など）」（25.2%）の順となっています。

#### ④ 地域活動への参加について

町会・自治会の加入状況をたずねたところ、「加入している」が 45.5%で 4 割半ばとなっています。一方、「加入していたことがある」（4.5%）と「加入したことがない」（34.5%）を合わせた『加入していない』は 39.0%となっています。

#### ⑤ 地域スポーツの推進について

運動やスポーツを行う頻度をたずねたところ、「週に 3 日以上」が 26.9%で最も高く、次いで「週に 2 日」、「週に 1 日」（同率、16.6%）、「月に 1 ～3 日」（13.0%）となっており、週に 1 日以上実施した方が 60.1%となっています。一方、「実施しなかった」は 14.4%となっています。

## ⑥ みどりについて

品川区のみどりについてたずねたところ、「とても多い」(3.8%)と「やや多い」(36.0%)を合わせた『多い』は39.8%となっています。一方、「やや少ない」(38.7%)と「とても少ない」(9.4%)を合わせた『少ない』は48.1%となっています。

## ⑦ 環境について

環境を守るために日常生活で心がけていることをたずねたところ、「買い物する時は、マイバッグを持っていくなどし、レジ袋はもらわない」が69.7%で最も高く、次いで「ごみ・資源の分別を徹底し、古紙・紙パック・缶・びん・ペットボトルなどをリサイクルに出す」(67.2%)、「家庭での食事や外食時、食事は残さず食べるよう努めている」(53.0%)、「節電、節水を心がけている」(50.3%)、「使い終えた油を流さないなど、家庭排水に気を付ける」(50.1%)の順となっています。

## ⑧ ごみ減量・リサイクルについて

各種事業の認知度をたずねたところ、「プラスチック製容器包装を資源として回収」が75.1%で最も高く、次いで、「資源・ごみの分け方・出し方」冊子の発行(54.5%)、「フリーマーケットの開催やリサイクルショップ「リボン」の運営支援」(43.8%)、「古着、廃食用油、不用園芸土、小型家電の拠点回収」(42.6%)の順となっています。

## ⑨ 心の健康について

自殺対策は自分自身に関わることだと思うかたずねたところ、「そうは思わない」が26.8%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(26.2%)、「どちらかといえばそうは思わない」(21.0%)の順となっています。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた、自殺対策は自分自身に関わることだと『思う』は44.0%でした。

## ⑩ 防災について

今後充実すべき防災対策についてたずねたところ、＜自助・共助＞では「防災用品の備蓄(非常用携帯トイレ、水など)」が85.7%と最も高く、次いで「家具の転倒・落下防止対策」(55.5%)となっています。＜公助＞では「さまざまな情報発信」が51.8%と最も高く、次いで「自然災害(地震、津波、風水害、がけ崩れなど)発生時における帰宅困難者対策」(51.4%)となっています。

⑪ 広報と情報化について

区に関する情報の入手先をたずねたところ、「区のお知らせ 広報しながわ」が 50.1%で最も高く、次いで、「品川区ホームページ」(36.8%)、「町会回覧板での「〇月の品川区からのお知らせです」(ちらし)」(17.2%)の順となっています。

⑫ シティプロモーションについて

品川区への愛着や親しみ、誇りについてたずねたところ、「どちらかといえば感じている」が最も高く 49.2%、次いで「感じている」が 36.3%となっています。「感じている」と「どちらかといえば感じている」を合わせた『感じている』は 85.5%であり、非常に高い割合となっています。